

## 軍用払い下げ車両

フリードリヒスハーフェン

南ドイツ・ボーデン湖畔に位置し、ツェッペリン飛行船の誕生地である。

そのため航空機産業、機械産業が盛んでかつてアラド社、ドルニエ社などの航空機会社があり、現在も飛行船用の歯車製造で創業したギアボックス製造最大手のZF社の本社があります。

フランス軍払い下げの旧型BMWオートバイが国内にも多く輸入されています。

判別法はオリーブドラブ塗装のほかエンジンにアルミタッグがリベット止めされ

「Centre de Réparation Auto Sud (=C.R.A.S)」と記載されています。

長年、「なぜフランス軍のオートバイをわざわざドイツ国内で整備するのか？」と疑問に思っていたのですがネット検索したらおぼろげながら背景が判ってきました。

1945年の敗戦時にドイツ南部にはフランス軍が進駐し、駐留しました。

駐留軍の自動車と同じ州内のフリードリヒスハーフェンで一括整備していたのが答えのようです。

この整備施設「CRAS」の稼働は1947-1985年でその後ドイツへ返還されたものと思われます。

かつて私が滞在していた街にもフランス軍の駐留地があり1992年ドイツに返還・再開発され世界のエコタウン「FREIBURG-VAUBAN」として生まれ変わりました。

クリメカご近所の「柏の葉地区」も戦前は「陸軍柏飛行場」、敗戦後は米軍柏無線送信所「キャンプ・トムリンソン」に、1979年返還で再開発され学術都市「柏の葉」として生まれ変わりました。「敗戦国あるある」といったところでしょうか。

CENTRE DE REPARATION AUTOMOBILE - ZONE - SUD

FRIEDRICHSHAFEN / NO CRAS / DATE DE REVISION



上記はR27軍用払下車両のタッグで1982年9月に分解整備されたことが判ります。

\*\*\*\*\*

Spezialist für EDEL BOXER in Chiba seit 1997

HOME PAGE = <http://crimeca.jp/>